

チヨーかんたん！だれでもワカル！ 在宅ケアにおける事業継続計画 (BCP)のキホン

日時：2022年4月18日(月)
19:00-20:30 参加無料

Web開催： You Tubeによるライブ配信

「令和3年度介護報酬改定」において、各介護サービス事業所が、事業継続計画（Business Continuity Plan：BCP）を策定することが義務づけられました。自然災害・感染症や人災、どのような場合にも利用者と職員を守り、事業所の使命を果たすために必要な計画です。2022年度までに各介護サービス事業所が策定しなければなりません。必ず作らなければならないなら、せっかくですから良いものを作りましょう。

そして、各介護サービス事業所のBCPの策定はもちろんですが、地域全体の住民を守る、必要なひとのケアの体制を守るための「地域BCP」も今後大事な取り組みになってきます。

今回はレクチャー形式でBCPのキホンについて学びます。講師は令和3年度厚生労働科学特別研究事業で「在宅医療の事業継続計画（BCP）策定に係る研究」の研究代表をされている山岸 暁美先生から直接お話を聞くことができます。是非ご参加ください。

●対象：(札幌市中央区以外の方も参加できます)
在宅ケア専門職種、患者・家族、市民

●申し込み **〆切** 2022年4月15日(金)

慶應大学医学部講師・公衆衛生学教室講師
コミュニティーヘルス研究機構
機構長・理事長

山岸 暁美さん

目的

札幌市中央区の在宅ケアに関わる多専門職種が在宅ケアにおける事業継続計画（Business Continuity Plan：BCP）について基礎知識を得て、まずは各事業所のBCP、ひいては地域全体のBCPをつくる話し合いの土台とします。

講師紹介：山岸暁美さん

慶應大学医学部講師・公衆衛生学教室講師

コミュニティーヘルス研究機構機構長・理事長

日赤医療センター勤務後、渡豪し小児病院に勤務。帰国後、2000年から訪問看護に従事。

07年厚労省戦略研究緩和ケア普及のための地域介入研究OPTIM-Studyプロジェクトマネジャー。

10年に厚労省入省、在宅医療専門官として、診療報酬・介護報酬同時改定、東日本大震災対応、医療計画指針策定、在宅医療連携拠点事業などに携わる。

16年8月より現職。

厚労省医政局事業E-Field HOME研修タスクフォース長、厚生労働省特別研究「在宅医療提供機関のBCP策定の手引き作成」研究代表者。

また「新興感染症における自宅療養者フォローアップに係る研究」「倉敷市地域包括BCP」のプロジェクトマネジャーを務める。

神戸市医師会顧問 / 倉敷市連合医師会顧問、 静岡県磐田市医療介護連携アドバイザー/AMED慢性の痛み解明班評価委員 等

プログラム（一部変更になる可能性があります）

19：00 あいさつ・趣旨説明

19：05 講演

チョーかんたん！だれでもワカル！

在宅ケアにおける事業継続計画(BCP)のキホン

20：05 質疑応答・総合討論

20：30 閉会

◆申込方法

- ① home.care.mtg@gmail.comへ件名に「中央区在宅ケア連絡会」と入れて、本文に「氏名」と「事業所名」「電話番号」を記載しメールを送ってください。
- ② 返信がありますのでURLをクリックしてGoogleフォームに必要事項を記載して下さい。
- ③ 確認の返信があれば登録完了です。なければootomo-sen@seimeikan.or.jpにご連絡下さい。
- ④ ZoomミーティングのURLに関しては事前にURLをメールで送ります。

•取り扱う個人情報は適切に処理します。在宅ケア連絡会の案内を希望される場合には、今後各区在宅ケア連絡会などの案内をします。他に使用することはありません。

お問い合わせ

事務局：社会医療法人 北海道循環器病院 担当 川端毅

TEL 011-563-3911 電子メール t-kawabata@hokujun.or.jp

